

ふれあい通信



長南町長
平野 貞夫

本年11月末に、統合小学校の校舎が完成の運びとなり、来年4月からは町内にスクールバスが運行し、統合校の存在が、町民の皆様にもはつきり見えてくるのではないかと思います。開校に向け、或いは4校の閉校に当たり、お骨折りをいただいている関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。

今、閉校となる4小学校の跡地活用が新たな課題となっています。私は、この跡地活用が、将来の長南町の命運を握るのではないかと思っています。校舎という特殊な建物ですから、使い勝手が非常に悪く、やはり学校施設は学校として使われるのが一番望ましいわけあります。

そんな折、学校法人タイケン学園の存在が私の耳に入つてきました。この学校は、スポーツ（硬式野球・サッカーボレーブル）を教育

28年度の当初予算は、議会の議決を以て成立いたしました。大型の継続事業や借入金の返済など、大変厳しい財政状況の中ではありましたが、私なりに必要と思われました新規事業については、盛り込むことが出来たのではないかと思っています。今後の予算執行に当たつては、職員一丸となつて取り組んでまいりますので、町民の皆様の一層のご支援、ご協力をお願ひいたします。

て使われるのが一番望ましいわけ
であります。

そんな折、学校法人タイケン学園
の存在が私の耳に入つてきました。
この学校は、スポーツ（硬式野球・サッ
カーレ・ゴルフなど）に特化した教育
を行う機関として全国にキャンパス
を持つ学園であります。市町村が学
校を誘致するには、立地条件もあり
ますが、地元でどの位の助成ができる
かに掛かっています。あまりにも
地元負担が大きくて、誘致を断念す
るところもあります。ですが、本町
には閉校となる教育財産があります。
これを生かせば、町の体力に合つた
負担で呼べるのではないかと思つて

み、教職員が住んでくれれば、地域経済は良くなりますし、町が元気になります。私は、この学園には、ぜひひ本町に来てほしいと期待をしたところであります。

11

私としては今回、最善の活用方法を選択したつもりですが、様々な波紋が広がっているようです。ですが1回タイケン学園の教育方針、経営方針、長南町への思いを聞いてみましょうよ！ それからでも遅くありませんから。

よる協定を締結し、学校進出の協議を始めることにしました。この協定の目的は、もちろん閉校となる4小学校を活用して日本ウエルネス中高一貫校のキャンパスを本町に作ることなのですが、今一つは、この学校の進出によって地域に流動人口、定住人口の増加を実現し、地域の活性化と町の発展につなげていくことになります。

そして、この目的達成のために双方が誠意をもつて真摯に協議を行い、合意によつて全ての解決に当たることとしています。

そして、この目的達成のために双方が誠意をもつて真摯に協議を行い、合意によつて全ての解決に当たることとしています。

これから、タイケン学園と具体的な話し合いを行うことになりますが、これによつて町と学園との

いずれにしても、タイケン学園を誘致するかどうかは、町民の皆様の御理解が必要であり、最終的には議会の議決を以て決定されることになります。

今の長南町を、このままで良いと思う人はいないはずです。ぜひ、みんなの力で町をえていこうではありませんか！

私は、学園の理事長と3回程お会いしましたが、本町に対してもすごく好感を持っておられ、ぜひ良い学校を作りたいと言つておられた。3校は、中学校、高等学

関係が一層明らかになつてきます。長南町に、かつての活気と賑わいを取り戻すため、町の利益を優先させながら、積極的に協議、交渉に臨んでいきたいと考えています。